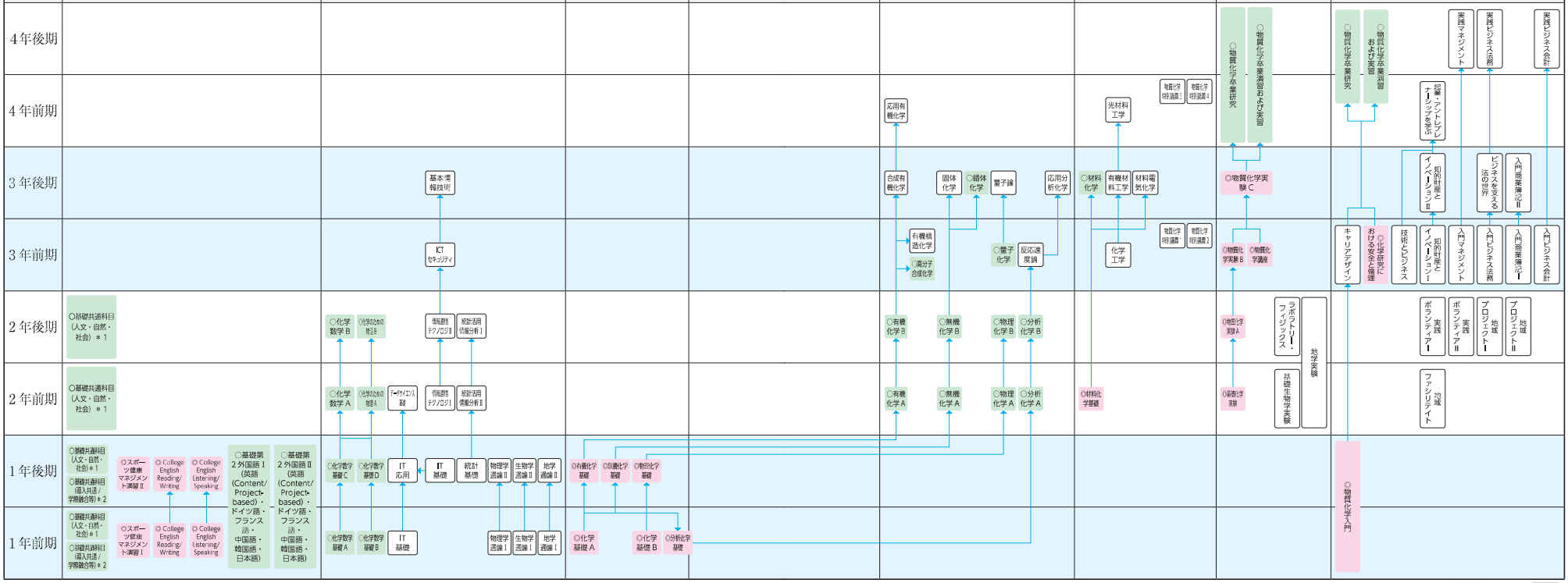
理工学部 物質化学科 カリキュラムツリー

〔2026年度（令和8年度）の入学生に適用〕

卒業認定・学位授与の方針（DP）	
	(1)【人物教育】社会人に求められる責任感と倫理観を意識し、自己管理能力と協調性を有しています。
	(2)【人物教育】天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
	(3)【広い教養】人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。

卒業認定・学位授与の方針（DP）	
	(4)【専門知識・技術】化学と応用化学の基本的な知識と技術を高い水準で有しています。
	(5)【自己表現・コミュニケーション】自己の意見を論理的にまとめ、相手にわかりやすく伝えるコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を有しています。
	(6)【課題解決・論理的思考】自立的に問題を発見し、論理的な思考に基づいて情報の整理・分析を行い、問題を解決する能力を有しています。

対応する卒業認定・学位授与の方針（DP）の番号	(1)(2)(3)(5)	(2)(3)(6)	(4)	(2)(4)(6)	(2)(4)(6)	(2)(4)(6)	(1)(2)(5)
到達目標	Z 人文科学、自然科学、社会科学、国際言語文化学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、物質化学と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。	A 自然科学に関する幅広い教養と基礎学力を修得するとともに、論理的思考に基づいてさまざまな自然科学的現象や概念を正しく理解することができる。	B 化学の諸分野を正しく理解する上で必要とされる基礎的な知識を修得することにより、より高度かつ分野横断的な学びに柔軟に対応することができる。	C 化学の諸分野における高度な専門知識を修得することにより、多様な物質の化学を純粋理学の側面から正しく理解、説明することができる。	D 応用化学ならびにその周辺分野の専門知識を修得することにより、多様な物質の化学を応用・実用科学の観点から理解し、また研究開発等の現場でそれらの知識を有効に活用することができる。	E 実験や実習、演習、または文献調査等を正しく実施することができ、さらにそこから得られた情報を整理・分析することで、問題を見つけて解決することができる。	F 高い倫理観と厳格な自己管理のもと、他者と協同しながら責任感をもって専門的な諸作業を実施し、またその結果や成果を社会に分かりやすく説明あるいは還元することができる。
科目群	科目群 Z（全学共通科目）	科目群 A	科目群 B	科目群 C	科目群 D	科目群 E	科目群 F



1. 基礎共通科目は、合計 16 単位を修得しなければならない
　①人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 4 単位（＊1）
　②導入共通科目「甲南大学と平生釟三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から 2 単位、学際融合系・国際言語文化系・スポーツ健康系の授業科目の中から 2 単位（＊2）

2.「中級英語」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」については 8 単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

3.「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」及び「English Regions Ⅲ・Ⅳ」については 2 単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

注）上記 2. 3 の科目は、カリキュラムツリー上に表示していない。